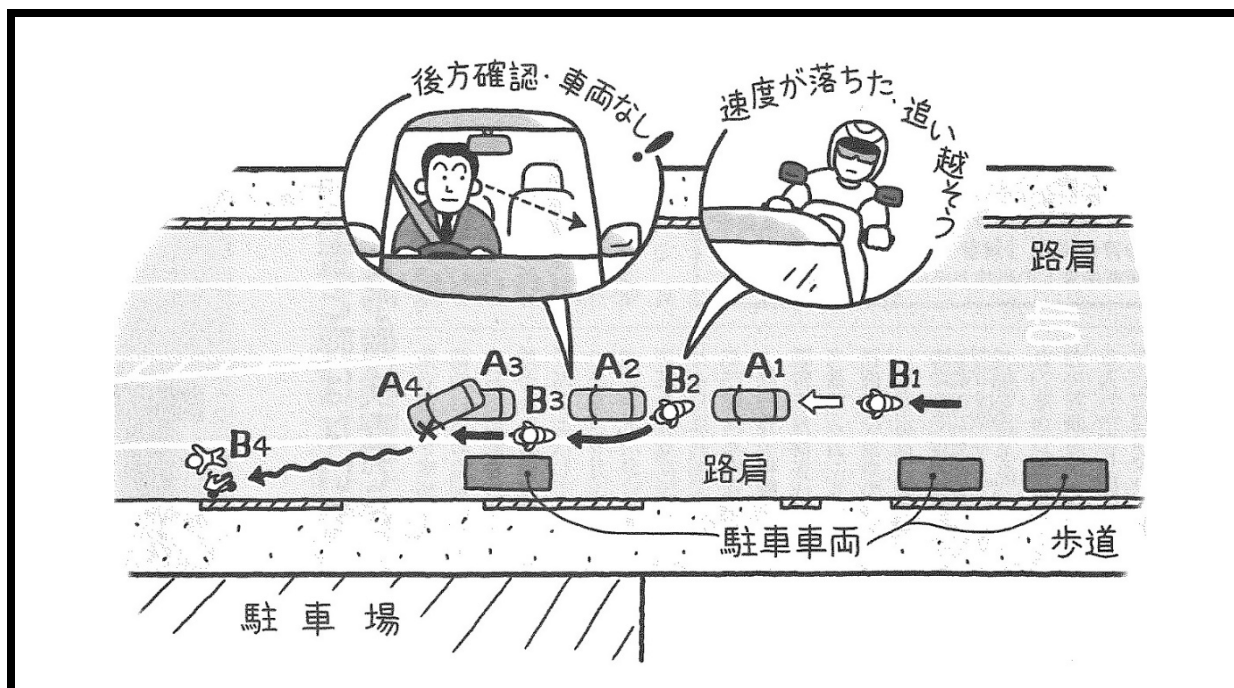


■ 事故の概況



事故類型：左折時

発生日時：

当事者A：普通乗用車 30歳代 男性

当事者B：二輪車 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、片側一車線道路を走行中、道路左側にあるの店舗の駐車場に入るため左折しようとしていました。駐車場の入口付近の道路には何台かの車両が駐車していたのでAは駐車車両に注意しつつ時速約30kmに減速しながら左へ方向指示器を出し、一度左側ドアミラーをのぞき後方確認をしました。後方に車両が映っていなかったので左折を始めたところへ左後方から進行してきた二輪車と衝突してしまいました。

二輪運転者のBはA車の車両1台分くらい後方を走行していましたが、A車が減速しはじめ、左右の方向指示器が点滅していなかったため左側から追い越そうとした途端、A車が左折を開始したために避けられずA車に衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

この事故の要因はAの後方安全確認不十分といえます。二輪車はその機動性の高さから車両間を縫うように走行し、いつの間にか自車の直後に追従していても気づかないということもあります。自動車の運転者は左折しようとする時には、早めに方向指示器を出し、これから左折するという意思表示を出すことが肝心です。次に左側方や後方に二輪車がないかどうか、サイドミラー、ルームミラーを見るだけでなく自分の目でも直接確認しましょう。

他方、二輪運転者は常に周りの車両に自分の存在をアピールするような位置関係を保って走行するように心がけましょう。